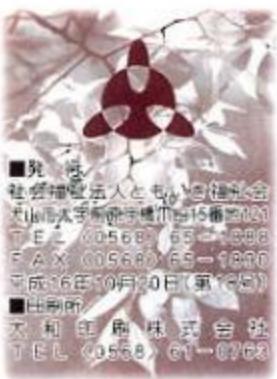


ぬくもり

ともいき福祉会



イルカのショーを見て感激

～ある日のショートステイ“杏”日記より～

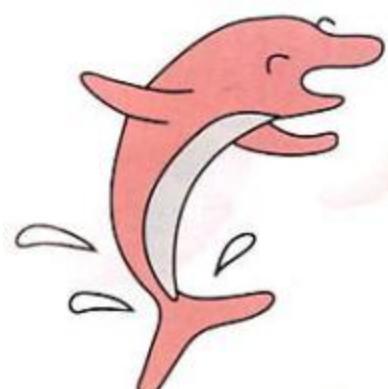
7月6日、ぬく森新館のショー
トステイ利用者5名、少し遠出と
なりましたが、名古屋港水族館へ
行ってきました。ユニット“杏”。
での生活で顔見知りになった方々
との初めての小旅行にバスの中で
も話題がとぎれることなく、い
つの間にか到着。

水族館では、館内の魚を見学し
ながら、若いころの思い出話など
も花が咲き、またイルカのショーをとても楽しく観賞し、利用者
の方々も、職員も充実したひとときを過ごす事ができました。
参加した方々の感想は「楽しかった」「また行きたい」「ありがとうございました」
とう…お疲れになられたのではと心配をしましたが、「無用」だ
ったようです。

つたようです。

今後も、利用者の方々
の希望に応え、外出の機
会も増やして、皆さんに
喜んでいただけのショ
トステイサービスにした
いと思っています。

さて、「次はどうへい
こうか」と、利用者の方
々と話し合っている毎日
です。



特養本館2F

「百寿草の間」

「（リリ）来ると自分の居場所があり、居心地がいい。」と利用者一人ひとりに思っていただけるよう日々利用者と向き合いながら生活しています。百寿草の間がきて一年が経ち初めは利用者の方々に百寿草の間という空間を知っていたとき、その中でその方に合った環境を作り居場所を持っていたなくことに力を入れてきました。現在は、利用者一人ひとりと深く関わりを持ちその人に合った生活のリズムの中で利用者と職員が一对で係わりケアを行うことに取り組んでいます。具体的には、個別リハビリとして散歩へ出掛けたり足のマッサージや立位訓練等その方に合つたりハビリを生活の中に取り組み一対一で行っています。また、外出したり利用者の食べたいものを月に一度は百寿草の間で作り皆さんで食べたくなりとさまざまな事を行っております。今まで以上にもっと利用者に寄り添ったケアができるよう職員一同頑張っております。



「和み」というユニットが始まり一年が経ちました。「和み」とは利用者がそのユニットで落ち着いて安心して過ごせるようなどう思いが込められています。今では「和み」が自分の居場所となり穏やかな表情で「一日を過ご」されています。今までは、お盆の上に茶わんをのせたまま食べてもらっていましたが、少しでも家庭の食卓に近づけるようにお盆を引いて食べていただいている。利用者からは、「食事がおいしくなった」という声が聞かれるようになりました。

特養本館3F

「和み」



2階の「椿」ユニットでは、毎日手巻き寿司を召し上がる会を開きました。当日は、利用者の皆さんと共に酢飯や、具材の準備を行いました。利用者は、いつもより笑顔も明るく、思い思いに好きな貝を巻いて、食べてもらいました。

新館ユニット

「椿」



「旅行へ、買い物へ」

サイトウ
「じこまじ俱楽部」

現在デイサービスサイトウでは、定期的
に水曜日に毎月一回程度特別営業日
(サイトウ「じこまじ俱楽部」)を設け、
買い物・お茶会・日帰り旅行など

通常のデイサービスにはない様々な企画で皆様にお楽し
みいただい
てます。次は何が飛び出すか? 今後の活動にご期待下
さい。



食べる」とが

二番!



ケアハウスの皆さんには、「わいわい会」という会があります。四季折々にマイクロバスに乗って畠田をしては、地元料理を探して食事会を年に数回行っています。7回は施設内でバーベキュー。8回は、県の市民健康館の調理室をお借りして自分たちの手作り料理の食事会を開きました。昨日は、「」鍋焼きから始め、献立料理も分担してつくる」とになりました。昔取った杵柄と振り切られて、美味しい料理が食べ切れないので、テーブルに並みました。

「これからも時々自分たちでつくった料理を食べたいですね。」と会話が弾んでいました。



本格的

「流しそーめん」いかが

今年の夏は、猛暑が続いた。食欲が衰えがち。解消するために太い青竹を半分に割つて流れ具合をながめながら長さ1メートルの「流しそーめん台」が、わいわい、言いながら出来上がりました。



デイサービス「ぬく森の館」の利用者の皆さんと一緒に初夏に植えた「キクワヒ」「ナズ」は、豊作でした。「穂の穂見とさむぎの花は、千に一つの無駄もない」といった諺もありますが、その諺とおり、ナスの花が見事に咲くと、しばらくすると、ナスの実がつき、大きく成長しました。普段は、ナスの塙もみにすることが多いのですが、今年はナスの収穫量が多かったので、ナスの味噌炒めにしていただきました。

「今年は豊作だ!」

デイサービスの利用者の皆さんと一緒に

お誕生日おめでとう

今年度より特典では誕生日祝いを、名コニクトで行っています。

当田さ、心ばかりの花束とケーキも贈贈。温かな雰囲気の中みんなで祝福します。また、フレゼントとして、1人希望のど

うへ外出したり、外食に田舎たりもしていま

す。年に一度のバースデーは、どんな希望も叶えられるスペシャルティーとなります。



新入職員紹介

私たち職員一同がんばりますので、
よろしくお願い致します！



荒内 幹夫
(事務長)



江口 雅朗
(介護士)



齊藤佐登世
(介護士)



高橋奈穂美
(事務員)



沼田 泰子
(用務員)



山田 周司
(看護師)



中島三雅子
(事務員)



葛谷美智子
(看護師)



坂口 内香
(介護士)



宮島 裕光
(運転手)



後藤 和芳
(運転手)



村上三和子
(看護師)

イベントカレンダー

10月 オルカ・ウインド・オルケスター
羽黒南保育園



11月 フラダンス
ささゆり



12月 五郎丸保育園
クリスマス会



10月23日(金)にぬく森地域交流センターで清水屋の衣類等の訪問販売が開かれます。皆様には普段買えない物に不便をおかけしていますが、ぜひこの機会に楽しんでくださいとおもいます。

暑い夏が過ぎ、スポーツの秋だ。球界は、史上初のプロ野球スト、地元の中日ドラゴンズがリーグを制し、海の向こうではイチロー選手が年間最多安打記録を更新する。特に、一年目の落合新監督が、才媛の「守り勝つ」野球で優勝を勝ち取られた。ぬく森職員も基本を守り、独自の質の高い介護の実績とこの広報紙を待ったれるよう、内容の充実に勤めてま

訪問販売のお知らせ

編集後記

ご協力ありがとうございました

(平成16年6月1日～9月30日)

ご協力ありがとうございました。この期間、多くの皆様にご協力いただきました。感謝の意を込めて、このメッセージを掲載します。

Hさんとのある会話

一度見てみて

ぬく森を

毎日介護ってたのしい

在所に通つたのであります。
てかの出れるか。
あそこは聞けられんからやりやれ。
今日、(痛いといふかんむり)はんたる。
じゃあ食べてじかんとじかん。何時? 12時だも。
はんたる。
在所はどい。
二原。
二原のどい。
二原曰。二原曰知りとむか。
じつの方でしる。(腰痛に近づく)
知らん。
椅子はどい。ある。
部屋にあるも。
12時だよ。

在所に通つたかったはんもつたけはん(すつ)
かづめたれの様子。その後、回事もなく笑顔して
いたはんを抱しあがつていたはんでした。

木のぬくもり
を感じながら、お
一人つつゆつたり
と入る事のできる
お風呂は、皆さん
に好評です。



ボランティアありがとうございます

ボランティアありがとうございます。このボランティア活動は、地域社会への貢献と、介護施設での活動を通じて、多くの人々に喜んでいただけました。